

公の施設目標管理シート（直営）

|      |              |
|------|--------------|
| 問合せ先 | 025-386-0181 |
|------|--------------|

|         |   |       |         |
|---------|---|-------|---------|
| 年度      | 令和4年度   |       |         |
| 施設名     | 新潟市北区郷土博物館  | 所管部・課 | 北区地域総務課 |
| 施設の設置目的 | 博物館法第2条第1項に規定する博物館として、北区の考古、歴史、民俗、美術等に関する資料の収集、保管、調査研究及び展示等の事業を行います。その成果を市民の教育及び芸術・文化の向上につなげます。 |       |         |

|          |        |          |   |     |        |
|----------|--------|----------|---|-----|--------|
| 当初予算(千円) |        | 当初人員(人)  |   | 作成日 | R4.4.1 |
| 歳入       | 254    | 正職員      | 3 | 修正日 |        |
| 歳出       | 13,728 | 会計年度任用職員 | 2 | 評価日 |        |

| No. | 視点 | 目標           | 評価指標                              |  |  |   |         | 参考・補足 | 主な事業等  | 目標達成状況<br>未達成理由   | 評価 |      |
|-----|----|--------------|-----------------------------------|--|--|---|---------|-------|--|---|----|------|
|     |    |              | 項目                                | R1実績   | R2実績   | R3実績  | R4目標    |       |  |   |    | R4結果 |
| 1   | 市民 | 入館者の増加       | 企画展等を実施して入館者数年間5,300人以上<br>(単位:人) | 9,068<br>(入館者:<br>8,895人、<br>館外事業<br>参加者:<br>173人) | 6,497<br>(入館者:<br>6,242人、<br>館外事業<br>参加者:<br>255人) | 7,478人<br>(入館者:<br>7,171人、<br>館外<br>事業参加<br>者:307人) | 5,300人  |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>常設展拡大企画展の開催</li> <li>2022木崎村小作争議100周年事業企画展示・関連事業の実施</li> <li>小学校のふるさと学習(学習サポートのオープン)</li> <li>小学校のふるさと学習(学習サポートの実施)の利用拡大</li> <li>美術企画展の開催</li> <li>博物館まつり、松蔭賞書道展、こども科学展は、100周年事業展示会の会期を延長することから、事業を休止し、この間に見直しを行います。また、分館の解体工事を実施するため、2か月間休館します。事業を休止することと休館期間を設けることから、令和4年度入館者数は、令和3年度入館者数の3/4程度の入館者数とします。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>常設展拡大企画展「昭和のくらし7」、及び「昭和のくらし展8」の開催、常設展示拡大スペース「葛塚織コーナー」のオープン</li> <li>北区区づくり事業 2022木崎村小作争議100周年事業「生活の向上を目指した小作農民と地主眞嶋桂次郎」展の開催、合わせて関連事業の実施</li> <li>美術企画「アートの世界を楽しむ」展の開催</li> <li>小学校のふるさと学習の利用(学習サポートの実施)</li> <li>(小中学生公券)「松蔭賞書道展」、「北区こども科学展」など、小・中学生のコンクール展の要項見直し</li> </ul> |    |      |
| 2   | 財務 | 歳入の増加        | 刊行物の販売収入年間110,000円以上<br>(単位:円)    | 141,300  | 103,360  | 147,450   | 110,000 |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度は、展覧会図録など新規の有償刊行物の作成が予定されていますが、依然として新型コロナウイルス感染症の影響がまだまだ懸念されることです。2か月の休館も予定している。効果的なPRに努め、刊行物の販売促進を図っていきます。令和3年度の3/4程度とします。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>常設展示「学習ノート」の販売</li> <li>常設展示ガイドブックの販売</li> <li>ガイドブック「北区のお宝ものがたり」の販売</li> <li>企画展「木崎村小作争議100周年展」パンフレットなどの販売</li> </ul>   |    |      |
| 3   | 業務 | 市民との協働(講座回数) | ボランティアガイド養成講座開催を年間4回以上<br>(単位:回)  | 4  | 4  | 4   | 4       |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>スキルアップ講座及び他館ボランティアとの交流会の開催 4回</li> <li>市民ガイドによる常設展示等の解説により、「北区の歴史と文化」をわかりやすく案内できる博物館づくりを促進します。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民ガイドのスキルアップ及び活動の拡充</li> </ul>   |    |      |
| 4   | 人材 | 人材育成         | 職員の職場内外の研修会参加延べ4回以上<br>(単位:回)     | 12   | 8  | 8   | 4       |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>職場内研修2回、館外研修2回を目標とします。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>常設展拡大企画について、職員全員の共通理解を深めるための職場内研修</li> <li>歴史、民俗、美術等専門分野の研鑽</li> <li>その他博物館業務に有効な研修会への参加</li> </ul>  |    |      |

|  |                                 |
|--|---------------------------------|
| <p>取り組みについて(目標設定の考え方など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>常設展「阿賀北の大地と人々のくらし」や常設展拡大企画の充実により、多くの市民が地域の歴史や文化を知ることができるとともに、北区の魅力を発見できる博物館づくりを目指します。</li> <li>小学校等の「ふるさと学習」の利用や出前授業サポートなど授業と連動した博物館の活用に向け、小学校との連携を強化し、普及活動に取り組みます。</li> <li>市民ガイドとの協働によるわかりやすい解説に努め、市民が気軽に利用できる博物館づくりを目指します。</li> <li>各種団体・関係機関との連携を図り、様々な機会に利用できる博物館づくりを目指します。</li> <li>農民運動として全国的に有名な木崎村小作争議は、令和4年度に100周年を迎えます。100周年事業として、企画展示の開催や、講演会、現地見学会、北区内中学生の見学会などの実施を予定しています。</li> </ul> | <p>総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)</p> |
|--|---------------------------------|